

全日本FS-125部門 エンジン回転数測定器の運用及び装着要領

1. 測定器の運用方法

- 1) タイヤ配布時に回転計ホルダーを渡します。
- 2) 公式車検時に取付られているか確認を行う。
- 3) タイヤ配布時に各ドライバーに測定機本体を手渡し、公式練習から装着して走行してください。
- 4) 決勝ヒート終了後に、車検場にて測定器及びホルダーの回収を行う。

時間	内容
※5月15日(日)タイヤ配布時	ケーブル、ブラケット、本体を配布
5月15日(日)決勝ヒート終了後	ケーブル、ブラケット、本体を回収

2. エンジン測定器のホルダーへの装着(FS-125用 OPPAMA測定器)

- 1) 表示面が表側となるように測定器をホルダーにタイラップコードを2本で装着する。

※表示面の MODE 部分および SET 部分を操作しないように留意すること。

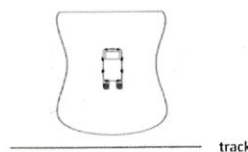
誤って操作した場合には必ず技術委員長に申し出ること。

申し出が無い場合、ペナルティが課せられる場合がある。

- 2) 検地コード先端をプラグコードにタイラップ2本で装着する。

※検地コードとプラグコードは連続して約 20mm 接触すること。

※ビニールテープは使用しないこと。



以上

※測定器配布は5月15日(日)タイヤ配布時とする。

審査委員長

斎藤 實

事務局長

高野 健太